

# 請 願 文 書 表

令和3年11月30日配付

産業厚生常任委員会付託

「重度障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書」採択を求める請願

- 1 受理番号 第4号
- 2 受理年月日 令和3年11月22日
- 3 請願者 住所 神戸市中央区橋通1丁目1-2  
氏名 兵庫障害者連絡協議会  
代表者 会長 柳 田 洋
- 4 紹介議員 太田 善雄、古山 久則
- 5 請願の理由

新型コロナウイルス感染拡大の脅威の中、あらためて医療提供体制の確立、医療関係法・制度の拡充の重要性が明らかになっています。とりわけ、障害者にとっては「健康に生きる」ことの願いが、コロナ禍を通じて、これまで以上にその切実さが増したといえます。

障害者医療をめぐるのは国の不十分な制度を補う形で、兵庫県でも重度障害者医療費助成制度が実施されています。この制度は、1960年代に自治体独自施策として実施され、いまではすべての自治体で実施され、障害者にとってはなくてはならない制度となっています。

本来、障害者医療は国の制度として実施されるべきものです。にもかかわらず、国に変わって実施している自治体に対し、窓口無料化（現物給付）は医療機関に受診する患者が増えて医療費が増大化するとともに、ペナルティー制度（国民健康保険制度に対する国庫負担を減額する措置）の制裁を加えており、このこと自体、本末転倒といえます。

新型コロナウイルス感染における最大の教訓として、医療提供体制の確立と医療関係法・制度の改正・拡充であり、この機に重度障害者医療費助成制度の国の制度化を求めるとりくみにご理解ご支援をいただき、次の請願項目を議会で採択し政府関係機関に意見書を提出していただきますよう請願致します。

## 記

- 1 障害者医療費無料制度を国の制度として創設すること。その際、精神障害者・難病などを含む全ての障害者を対象にするとともに、通院・入院ともに適用すること。
- 2 重度心身障害者医療費助成制度に対する国のペナルティー制度を全廃すること。
- 3 当面、重度障害者医療費助成制度に対し国の財政支援をおこなうこと。